

A. 電気所（発電所、変電所、配電塔）における変圧器の空容量一覧

【留意事項】

(1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。

- ※1 1バンク適用のため1バンク設備容量を記載
- ※2 3バンク適用のため1バンク故障時を考慮し2バンク分の容量を記載
- ※3 4バンク適用のため1バンク故障時を考慮し3バンク分の容量を記載
- ※4 5バンク適用のため1バンク故障時を考慮し4バンク分の容量を記載
- ※5 1バンク故障時の電圧制御や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮

(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。

(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で過系統が発生する場合があります。

(4) N-1制適用可能欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。

その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。

- #1 1バンク変電所（分館専用等含む）のため
- #2 配電用変電所のため
- #3 設備容量の制約により、N-1電制を適用しても運用容量が拡大しないもの

(5) N-1電制適用可能欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。

(6) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。

* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gouinka_shiryoku.html

(7) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途/シグナリング対策が必要になる可能性があります。

(8) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事の一部を負担いただくことがあります。

(9) 社会的影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。

(10) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄「□」を記載しております。

(11) 既設電源線に新規電源が連系する際、系統増強が必要となる場合があります。詳細については、接続検討の中でお示しします。

※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。 <https://www.occto.or.jp/guid/business/saetsuzoku.html#non-firm>

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となりうる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系 設備	
A	西播	500	275	3	2850	2850	熱容量	742	742	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
B	北摂	500	275	3	2850	2850	熱容量	182	182	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
C	猪名川	500	275	3	2850	2850	熱容量	679	679	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
D	新練部	500	275	2	1900	1425	熱容量	1425	1425	可	475	-	-	-	※5
E	嶺南	500	275	3	2850	2850	熱容量	818	818	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
F	西京都	500	275	3	2850	2850	熱容量	2850	2850	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
G	南京都	500	275	3	2850	2850	熱容量	1693	1693	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
H	新生駒	500	275	2	1900	1425	熱容量	89	89	可	475	-	-	-	※5
I	紀の川	500	275	3	2850	2850	熱容量	2219	2219	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
J	能勢	500	275	2	2850	2137	熱容量	1795	1795	可	713	-	-	-	※5
K	金剛	500	275	2	1900	1425	熱容量	519	519	可	475	-	-	-	※5
L	猪名川	500	154	3	2137	2137	熱容量	2093	2093	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
M	西京都	500	154	2	1425	1068	熱容量	1068	1068	可	357	-	-	-	※5
N	南京都	500	154	3	2137	2137	熱容量	2047	2047	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
O	新生駒	500	154	4	2850	2850	熱容量	2850	2850	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
P	信貴	500	154	4	2850	2137	熱容量	332	332	可	713	-	-	-	※3、5
Q	御坊	500	77	2	570	313	熱容量	0	0	可	77	-	-	-	※5
R	奥多々良木	500	77	1	285	285	熱容量	148	148	不可 # 1	-	-	-	-	※1
A A	伊丹	275	154	2	570	427	熱容量	427	317	可	143	-	-	-	※5
A B	北大阪	275	154	3	665	570	熱容量	570	296	可	95	-	-	-	※2、5
A C	淀川	275	154	3	950	712	熱容量	712	712	可	238	-	-	-	※2、5
A D	東大阪	275	154	3	997	855	熱容量	394	89	可	142	-	-	-	※2、5
A E	新菱本	275	154	1	190	190	熱容量	0	0	不可 # 1	-	-	-	-	※1、*1
A F	西播	275	77	2	570	427	熱容量	156	156	可	143	-	-	-	※5
A G	南赤穂	275	77	1	285	285	熱容量	7	7	不可 # 1	-	-	-	-	※1
A H	姫路	275	77	2	570	427	熱容量	264	182	可	143	-	-	-	※5
A I-1	飾磨港	275	77	2	570	427	熱容量	416	182	可	143	-	-	-	※5
A I-2	飾磨港	275	77	1	285	285	熱容量	92	92	不可 # 1	-	-	-	-	※1
A J-1	南姫路	275	77	2	570	427	熱容量	354	0	可	143	-	-	-	※5
A J-2	南姫路	275	77	1	285	285	熱容量	285	146	不可 # 1	-	-	-	-	※1
A K	北摂	275	77	3	855	712	熱容量	339	182	可	143	-	-	-	※2、5
A L-1	高砂	275	77	2	570	427	熱容量	427	182	可	143	-	-	-	※5
A L-2	高砂	275	77	1	427	427	熱容量	427	182	不可 # 1	-	-	-	-	※1
A M	新加古川	275	77	2	380	285	熱容量	114	114	可	95	-	-	-	※5
A N	東播	275	77	3	855	855	熱容量	740	182	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
A O	西神戸	275	77	3	760	712	熱容量	647	182	可	48	-	-	-	※3、5
A P	神戸	275	77	3	855	855	熱容量	831	182	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
A Q	新神戸	275	77	4	950	712	熱容量	712	182	可	238	-	-	-	※3、5
A R	三宮	275	77	2	570	427	熱容量	427	34	可	143	-	-	-	※5
A S	新練部	275	77	4	1045	855	熱容量	694	694	不可 # 3	-	-	-	-	※3、5
A T	伊丹	275	77	3	855	855	熱容量	855	317	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
A U	北豊中	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	-	-	-	※5
A V	下穂積	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	-	-	-	※5
A W	小曾根	275	77	2	570	427	熱容量	427	427	可	143	-	-	-	※5
A X	嶺南	275	77	2	380	285	熱容量	148	148	可	95	-	-	-	※5
A Y	湖東	275	77	5	855	855	熱容量	584	584	不可 # 3	-	-	-	-	※4、5
B A	西京都	275	77	2	570	427	熱容量	412	412	可	143	-	-	-	※5
B B	北大阪	275	77	3	665	570	熱容量	570	296	可	95	-	-	-	※2、5
B C	淀川	275	77	3	855	855	熱容量	855	855	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
B D	西大阪	275	77	2	570	570	熱容量	512	512	不可 # 1	-	-	-	-	※1
B E	甲賀	275	77	3	855	855	熱容量	673	41	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
B F	湖南	275	77	4	1045	855	熱容量	855	457	可	190	-	-	-	※3、5
B G	粟東	275	77	3	855	855	熱容量	855	70	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
B H	洛南	275	77	2	570	427	熱容量	422	422	可	143	-	-	-	※5
B I	枚方	275	77	2	570	427	熱容量	427	89	可	143	-	-	-	※5
B J	新渡戸川	275	77	2	570	427	熱容量	427	89	可	143	-	-	-	※5
B K	新生駒	275	77	2	570	427	熱容量	427	89	可	143	-	-	-	※5
B L	東大阪	275	77	3	665	570	熱容量	570	89	可	95	-	-	-	※2、5
B M	南河内	275	77	3	855	855	熱容量	847	89	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
B N	泉南	275	77	3	855	855	熱容量	726	726	不可 # 3	-	-	-	-	※2、5
B O	南大阪	275	77	4	1140	855	熱容量	827	519	可	285	-	-	-	※5
B P	泉北	275	77	2	570	427	熱容量	403	0	可	143	-	-	-	※5
B Q	北葛城	275	77	4	950	950	熱容量	756	519	不可 # 3	-	-	-	-	※3、5
B R	紀の川	275	77	2	570	313	熱容量	101	101	可	257	-	-	-	※5
B S	海南港	275	77	2	570	313	熱容量	0	0	可	223	-	-	-	※2、5
B T	多奈川	275	77	2	570	427	熱容量	76	76	可	143	-	-	-	※5
B U	変電所	275	154	2	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	◇
C A	西宮	154	77	2	475	356	熱容量	356	317	可	119	-	-	-	※5
C B	南大浜	154	77	3	712	712	熱容量	712	712	不可 # 3	-	-	-	-	※3、5

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
C C	西島	154	77	2	377	283	熱容量	146	146	可	94	—	—	—	※5
C D	神崎	154	77	2	475	356	熱容量	356	288	可	119	—	—	—	※5
C E	御幣島	154	77	2	380	285	熱容量	285	285	可	95	—	—	—	※5
C F	小曽根	154	77	2	380	285	熱容量	285	285	可	95	—	—	—	※5
C G	豊崎	154	77	2	380	285	熱容量	285	274	可	95	—	—	—	※5
C H	西三国	154	77	3	712	712	熱容量	712	712	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
C I	新島館	154	77	2	475	356	熱容量	356	356	可	119	—	—	—	※5
C J	円町	154	77	2	475	356	熱容量	356	247	可	119	—	—	—	※5
C K	島原	154	77	2	475	356	熱容量	356	356	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
C L	荒神口	154	77	2	475	356	熱容量	356	39	可	119	—	—	—	※5
C M	横大路	154	77	4	855	855	熱容量	855	806	不可 # 3	—	—	—	—	※3、5
C N	新八幡	154	77	2	475	356	熱容量	328	39	可	119	—	—	—	※5
C O	奈良	154	77	3	712	712	熱容量	637	519	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
C P	蹴上	154	77	2	475	356	熱容量	356	39	可	119	—	—	—	※5
C Q	古川橋	154	77	4	926	926	熱容量	926	805	不可 # 3	—	—	—	—	※3、5
C R	本町	154	77	3	570	570	熱容量	570	570	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
C S	野江	154	77	3	570	570	熱容量	570	570	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
C T	空心町	154	77	2	380	285	熱容量	285	285	可	95	—	—	—	※5
C U	猪飼野	154	77	2	475	356	熱容量	356	332	可	119	—	—	—	※5
C V	東意岐部	154	77	2	475	356	熱容量	354	354	可	119	—	—	—	※5
C W	堺港	154	77	5	950	760	熱容量	723	0	可	190	—	—	—	※4
C X	高島	154	77	2	190	142	熱容量	75	0	可	48	—	—	—	※5
C Y	高津	154	77	2	475	356	熱容量	356	89	可	119	—	—	—	※5
C Z	新奈良	154	77	2	380	380	熱容量	380	0	不可 # 3	—	—	—	—	※3、5
D A	百済	154	77	2	475	356	熱容量	356	237	不可 # 3	—	—	—	—	※5
D B	本田	154	77	3	446	334	熱容量	334	138	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
D C	矢田	154	77	2	475	356	熱容量	354	332	可	119	—	—	—	※5
D D	八尾	154	77	3	570	570	熱容量	566	332	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
D E	中河内	154	77	2	475	356	熱容量	342	332	可	119	—	—	—	※5
D F	長曽根	154	77	3	760	570	熱容量	546	138	可	190	—	—	—	※2、5
D G	松屋	154	77	2	475	356	熱容量	354	0	可	119	—	—	—	※5
D H	敷津	154	77	3	712	712	熱容量	599	0	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
D I	萩之茶屋	154	77	2	475	356	熱容量	355	0	可	119	—	—	—	※5
D J	新宮	154	77	3	256	125	熱容量	82	0	可	131	—	—	—	※2、5
D K	向日町	154	77	1	237	237	熱容量	237	237	不可 # 1	—	—	—	—	※1
D L	勢野	154	77	1	237	237	熱容量	237	237	不可 # 1	—	—	—	—	※1
D M	堺浜	154	77	2	475	356	熱容量	353	0	可	119	—	—	—	※5
D N	有馬	154	22	2	76	57	熱容量	57	57	可	19	—	—	—	※5
D O	生瀬	154	22	2	57	42	熱容量	20	20	可	15	—	—	—	※5
D Q	新曽根崎	154	22	5	665	522	熱容量	522	522	可	143	—	—	—	※4、5
D R	本町	154	22	3	285	209	熱容量	209	209	可	76	—	—	—	※2、5
D S	城見	154	22	2	85	47	熱容量	47	47	可	38	—	—	—	※5
D U	テクノポート	154	22	3	171	171	熱容量	171	138	不可 # 3	—	—	—	—	※2、5
D V	城見	154	6.6	2	28	14	熱容量	14	14	不可 # 2	—	—	—	—	※1
D W	上本町	154	6.6	2	57	28	熱容量	28	28	不可 # 2	—	—	—	—	※1
E A	西淡	187	77	3	551	541	熱容量	348	203	可	10	—	—	—	※2、5
海A	須原	154	77	2	72	72	熱容量	2	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
海B	橋場	77	11	1	10	10	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
海C	妻籠	77	11	1	6	6	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
海D	落合	154	77	1	57	57	熱容量	7	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
海E	丸山	275	154	2	427	427	熱容量	24	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
海F	兼山	154	77	1	52	52	熱容量	8	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸A	新柳河原	154	11	1	52	52	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸B	小牧	154	66	1	38	38	熱容量	1	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸C	利賀二	154	77	1	47	47	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸D	成出	275	11	1	190	190	熱容量	2	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸E	小原	154	11	1	50	50	熱容量	3	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸G	大牧	66	11	1	16	16	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸J	角川	154	11	2	29	29	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸K	打保	154	11	2	28	28	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1
陸L	万波	154	6.6	1	13	13	熱容量	0	0	不可 # 1	—	—	—	—	※1

* 1 当該系統は、系統安定度等により制約がありますので、連系可能量については、別途詳細検討が必要となります。

B. 送電線の空容量一覧

【留意事項】

(1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。

- ※1 1回線送電線のため1回線設備容量を記載
- ※2 3回線送電線のため1回線設備容量を考慮し2回線分の容量を記載
- ※3 4回線送電線のため1回線設備容量を考慮し3回線分の容量を記載
- ※4 1回線送電線の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- ※5 ループ系統構成（電源線を含む）を考慮

(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。

(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で運用制約が発生する場合があります。

(4) N-1電制適用可能には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。

その結果、適用可否となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。

- #1 基幹系ループ系統のため
- #2 1回線送電線のため
- #3 1バンク変電所（分館運用等含む）のため
- #4 安定度制約のため（制約が確認できているもの）
- #5 設備容量の制約により、N-1電制を適用しても運用容量が拡大しないもの

(5) N-1電制適用可能量には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の運用可能量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。

(6) 平常時出力制御が必要となる設備は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。

* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoruyou_qourika_shiryouu.html

(7) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。

(8) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

(9) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。

(10) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

(11) 既設電源線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、接続検討の中でお示しします。

※電力広域運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて」の「ノンファーム接続」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。 <https://www.occto.or.jp/grid/business/sstusozoku.html#non-firm>

(12) 送電線No.57「宮津線」は2029年度に系統廃止を予定しております。

(13) 送電線No.133「高島線」は2028年度に系統廃止を予定しております。

(14) 送電線No.238「北陸幹線（松岡～高島）」は2028年度に系統廃止を予定しております。

(15) 送電線No.217「関西幹線（犬山～新奈良）」は2028年度に系統廃止を予定しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
1	播磨線	500	2	5568	3062	熱容量	2204	2204	不可 # 1	-	-	-	-	※4
2	東播線	500	2	6580	3290	熱容量	1705	1705	不可 # 1	-	-	-	-	
3	丹波線	500	2	5568	3062	熱容量	111	111	不可 # 1	-	-	-	-	※4
4	能勢線	500	2	5568	3062	熱容量	1262	1262	不可 # 1	-	-	-	-	※4
5	北河内線	500	2	6580	3290	熱容量	194	194	不可 # 1	-	-	-	-	
6	南近江線	500	2	6580	3290	熱容量	3137	3137	不可 # 1	-	-	-	-	
7	山城北線	500	2	5568	3062	熱容量	244	244	不可 # 1	-	-	-	-	※4
8	山城東線	500	2	5568	3062	熱容量	2033	2033	不可 # 1	-	-	-	-	※4
9	播磨中央線	500	2	6580	3290	熱容量	1385	1385	不可 # 1	-	-	-	-	
10	播磨西線	500	2	6580	3290	熱容量	2456	2456	不可 # 1	-	-	-	-	
11	播磨北線	500	2	6580	3290	熱容量	2405	2405	不可 # 1	-	-	-	-	
12	大河内線	500	2	6580	3290	熱容量	2405	2405	不可 # 1	-	-	-	-	
13	新綾部線	500	2	6580	3290	熱容量	194	194	不可 # 1	-	-	-	-	
14	若狭幹線（山）	500	2	5568	3062	熱容量	1368	1368	不可 # 1	-	-	-	-	※4
15	北近江線	500	2	6580	3290	熱容量	2086	2086	不可 # 1	-	-	-	-	
16	送電線	500	2	-	-	-	406	406	-	-	-	-	-	◇
17	丹後幹線	500	2	5568	3062	熱容量	540	540	不可 # 1	-	-	-	-	※4
18	送電線	500	2	-	-	-	662	662	-	-	-	-	-	◇
19	送電線	500	2	-	-	-	2057	2057	-	-	-	-	-	◇
20	送電線	500	2	-	-	-	2058	2058	-	-	-	-	-	◇
21	若狭幹線（里）	500	2	5568	3062	熱容量	2038	2038	不可 # 1	-	-	-	-	※4
22	奥多々良木線	500	2	6580	3290	熱容量	1850	1850	可	1180	-	-	-	
23	送電線	500	2	-	-	-	1928	1928	-	-	-	-	-	◇
24	御坊幹線	500	2	6580	3290	熱容量	604	604	可	1180	-	-	-	
25	送電線	500	2	-	-	-	44	44	-	-	-	-	-	◇
26	南大和線	500	2	6580	3290	熱容量	2352	2352	不可 # 1	-	-	-	-	
27	北大和線	500	2	5568	3290	熱容量	2866	2866	不可 # 1	-	-	-	-	※4
28	送電線	500	2	-	-	-	1588	1588	-	-	-	-	-	◇
29	山城南線	500	2	5568	3062	熱容量	2638	2638	不可 # 1	-	-	-	-	
30-A	北和泉線	500	2	5568	2784	熱容量	1901	1901	不可 # 1	-	-	-	-	
30-B	南和泉線	500	2	5568	3062	熱容量	2958	2958	不可 # 1	-	-	-	-	※4
31	信貴線	500	2	5568	2784	熱容量	1378	1378	不可 # 1	-	-	-	-	
90	金剛線	500	2	11096	6103	電圧安定性	5119	5119	不可 # 1	-	-	-	-	※5
91	紀北線	500	2	6580	3290	熱容量	1937	1937	不可 # 1	-	-	-	-	
32	送電線	275	2	3050	2288	熱容量	1058	742	可	762	-	-	-	※4
33	送電線	275	2	-	-	-	1364	742	-	-	-	-	-	◇
34	西播線	275	2	764	574	熱容量	574	574	可	190	-	-	-	※4
35	飾磨港線	275	2	1256	942	熱容量	942	182	可	314	-	-	-	※4
36	送電線	275	2	3616	2714	熱容量	883	182	可	902	-	-	-	※4
37	送電線	275	2	1318	989	熱容量	32	32	可	329	-	-	-	※4
38	姫路支線	275	2	847	574	熱容量	565	182	可	273	-	-	-	※4
39	送電線	275	2	1531	1148	熱容量	43	43	可	383	-	-	-	※4
40	送電線	275	2	3062	2000	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	-	-	-	
41	姫路南支線	275	2	1318	989	熱容量	989	0	可	329	-	-	-	※4
42	新生胸線	275	2	3062	2000	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	-	-	-	
43	送電線	275	2	3062	2296	熱容量	1435	182	可	766	-	-	-	※4
44	新加古川線	275	2	740	560	熱容量	146	146	可	180	-	-	-	※4
45	西神戸線	275	2	3062	2296	熱容量	830	182	可	447	-	-	-	※4
46	東播支線	275	2	3050	2288	熱容量	2283	182	可	762	-	-	-	※4
47	六甲線	275	2	2638	1979	熱容量	1979	182	可	659	-	-	-	※4
48	西神支線	275	2	3050	2288	熱容量	1114	182	可	762	-	-	-	※4
49	北神線	275	2	6103	4072	熱容量	297	182	可	902	-	-	-	※4
50	三宮線	275	3	1311	1290	熱容量	34	34	可	21	-	-	-	※4
51	送電線	275	3	-	-	-	12	12	-	-	-	-	-	◇
92	送電線	275	3	-	-	-	132	34	-	-	-	-	-	◇
52	送電線	275	2	816	612	熱容量	66	66	可	204	-	-	-	※4
53	宝塚線	275	2	3062	2296	熱容量	317	317	可	766	-	-	-	※4
54	伊丹線	275	2	1770	1357	熱容量	518	317	可	413	-	-	-	※4
55	新神戸線	275	2	1760	1357	熱容量	84	84	可	403	-	-	-	※4
56	西京都線	275	2	3062	2296	熱容量	2296	2296	可	766	-	-	-	※4
57	宮津線	275	2	1528	1148	熱容量	1148	1148	可	380	-	-	-	(12)
58	湖東線	275	2	1531	1148	熱容量	877	818	可	382	-	-	-	※4

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	通用容量値 (MW)	通用容量制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
59	送電線	275	2	-	-	-	868	818	-	-	-	-	-	◇
60	送電線	275	2	-	-	-	518	518	-	-	-	-	-	◇
61	喜瀬山線	275	2	1808	1357	熱容量	457	457	可	451	-	-	-	※4
62	湖南線	275	2	1808	1357	熱容量	923	457	可	451	-	-	-	※4
63	栗東線	275	2	764	574	熱容量	70	70	可	190	-	-	-	※4
64	甲賀線	275	2	958	818	熱容量	41	41	可	240	-	-	-	※4
65	南京都線	275	2	3616	2714	熱容量	2714	1693	可	902	-	-	-	※4
66	洛南支線	275	2	1946	1357	熱容量	1357	1357	可	589	-	-	-	※4
67	東大阪線	275	2	1318	989	熱容量	989	89	可	329	-	-	-	※4
68	新履屋川支線	275	2	1946	1357	熱容量	1357	89	可	589	-	-	-	※4
69	西大阪線	275	2	3616	2714	熱容量	2372	1795	可	902	-	-	-	※4
70	西大阪支線	275	2	1524	1144	熱容量	451	451	可	380	-	-	-	※4
71	北大阪線	275	2	1318	989	熱容量	296	296	可	329	-	-	-	※4
72	淀川線	275	2	1319	989	熱容量	989	989	可	329	-	-	-	※4
73	北豊中線、西大阪小曽根線	275	3	1714	1714	熱容量	1714	1714	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
74	西大阪小曽根線、小曽根支線	275	2	644	483	熱容量	483	483	可	161	-	-	-	※4
75	北豊中線	275	2	599	449	熱容量	449	449	可	149	-	-	-	※4
76	下穂橋支線	275	2	570	427	熱容量	427	427	可	142	-	-	-	※4
77	東大阪新生駒線	275	2	3616	2714	熱容量	2714	89	可	902	-	-	-	※4
78	泉南東大阪線	275	2	1298	977	熱容量	977	89	可	321	-	-	-	※4
79	南河内支線	275	2	1525	1144	熱容量	1136	89	可	381	-	-	-	※4
80	送電線	275	2	1318	989	熱容量	989	989	可	329	-	-	-	※4
81	紀の川線	275	2	2328	1742	熱容量	1491	1491	可	586	-	-	-	※4
82	送電線	275	2	3062	2296	熱容量	2065	2065	可	766	-	-	-	※4
84	北葛城線	275	2	3676	2288	熱容量	2094	519	可	1180	-	-	-	※4
85	南大阪線	275	2	3616	2714	熱容量	1826	519	可	902	-	-	-	※4
86	南大阪泉北線	275	2	1046	784	熱容量	0	0	可	90	-	-	-	※4
87	鳴門淡路線	187	2	720	396	熱容量	203	203	可	250	-	-	-	※4
88	熊野幹線	275	2	1318	814	熱容量	154	154	可	689	-	-	-	※4
89	送電線	275	2	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	◇
101	西京都島原線	154	3	833	554	熱容量	555	555	不可 # 5	-	-	-	-	※4
102	西京都円町線	154	1	247	247	熱容量	247	247	不可 # 2	-	-	-	-	※1
103	西京都向日町線	154	1	426	426	熱容量	426	426	不可 # 2	-	-	-	-	※1
104	南京都奈良線	154	2	1080	594	熱容量	519	519	可	486	-	-	-	※4
105	南京都新八幡線	154	2	308	202	熱容量	39	39	可	77	-	-	-	※4
107	蹴上支線	154	2	606	333	熱容量	333	39	可	273	-	-	-	※4
172	蹴上荒神口線	154	2	424	233	熱容量	233	39	0	-	-	-	-	※4
108	南京都横大路線	154	2	1075	806	熱容量	806	806	可	268	-	-	-	※4
109	送電線	154	2	314	235	熱容量	143	143	可	79	-	-	-	※4
110	新生駒古川橋線	154	2	1074	805	熱容量	805	805	可	268	-	-	-	※4
111	新生駒野江線	154	3	1611	1611	熱容量	1611	1611	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
112	新曽根崎支線	154	3	670	670	熱容量	670	670	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
113	城見支線	154	2	255	191	熱容量	191	191	不可 # 5	-	-	-	-	※4
114	新生駒野江線	154	3	614	614	熱容量	614	614	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
115	新生駒本町線、本町南線、本町北線	154	3	777	777	熱容量	777	777	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
116	空心町支線、空心町南支線	154	2	388	291	熱容量	291	291	可	97	-	-	-	※4
117	新生駒本町線	154	3	739	739	熱容量	739	739	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
118	新曽根崎本町線	154	1	232	232	熱容量	232	232	不可 # 2	-	-	-	-	※1
119	上本町本町線	154	1	320	320	熱容量	320	320	不可 # 2	-	-	-	-	※1
120	東大阪古川橋線	154	2	304	228	熱容量	228	89	可	76	-	-	-	※4
121	高津線1L	154	1	251	251	熱容量	251	89	不可 # 2	-	-	-	-	※1
122	高津線2L	154	1	267	267	熱容量	267	89	不可 # 2	-	-	-	-	※1
123	高津線2L	154	1	251	251	熱容量	251	89	不可 # 2	-	-	-	-	※1
124	上本町支線	154	1	250	250	熱容量	250	250	不可 # 2	-	-	-	-	※1
125	猪飼野支線	154	2	480	360	熱容量	360	332	可	120	-	-	-	※4
126	本田線	154	2	446	334	熱容量	334	138	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
127	北大阪小曽根線	154	2	449	337	熱容量	337	296	可	112	-	-	-	※4
128	豊崎線	154	2	365	274	熱容量	274	274	可	91	-	-	-	※4
129	新島飼東支線	154	2	533	400	熱容量	400	400	可	133	-	-	-	※4
130	淀川西/東線	154	3	716	716	熱容量	716	712	不可 # 5	-	-	-	-	※2、4
131	西島支線	154	2	377	283	熱容量	147	147	可	94	-	-	-	※4
132	御幣島線	154	2	384	288	熱容量	288	288	可	96	-	-	-	※4
133	高島線	154	2	308	231	熱容量	0	0	可	77	-	-	-	※4、(13)
134	新奈良線	154	2	369	277	熱容量	0	0	可	92	-	-	-	※4
135	敷津松屋線	154	1	241	241	熱容量	241	138	不可 # 2	-	-	-	-	※1
136	敷津堺浜線	154	2	514	386	熱容量	272	0	可	83	-	-	-	※4
137	送電線	154	3	-	-	-	17	0	-	-	-	-	-	◇
138	長曽根支線3、4 L	154	2	748	561	熱容量	243	138	可	187	-	-	-	※4
139	堺港八尾線	154	2	522	391	熱容量	0	0	可	-12	-	-	-	※4
140	堺港長曽根線	154	2	522	391	熱容量	0	0	可	130	-	-	-	※4
141	信貴百済線2L	154	1	545	545	熱容量	545	332	可	545	-	-	-	※1
142	信貴百済線2L	154	1	237	237	熱容量	237	237	可	237	-	-	-	※1
143	信貴百済線3L/信貴矢田線	154	2	1119	839	熱容量	839	332	可	279	-	-	-	※4
144	信貴矢田線/矢田支線	154	2	483	362	熱容量	362	332	可	120	-	-	-	※4
145	信貴敷津線1/2L	154	2	1069	1000	同期安定性	0	0	不可 # 4	-	-	-	-	※4
146	信貴敷津線3/4L	154	2	1090	1000	同期安定性	138	138	不可 # 4	-	-	-	-	※4
147	八尾線	154	2	857	626	熱容量	626	332	可	231	-	-	-	※4
148	信貴八尾線	154	2	2027	1480	熱容量	1153	332	可	547	-	-	-	※4
149	堺港新生駒線	154	2	500	375	熱容量	0	0	可	103	-	-	-	※4
150	東意岐部支線	154	2	474	355	熱容量	354	354	可	118	-	-	-	※4
151	中河内支線	154	2	474	355	熱容量	355	332	可	118	-	-	-	※4
152	敷津萩之茶屋線	154	2	484	363	熱容量	363	0	可	121	-	-	-	※4
153	堺港松屋線	154	2	479	360	熱容量	0	0	可	87	-	-	-	※4
154	テクノポート支線/クノポート線	154	3	420	698	熱容量	699	138	不可 # 5	-	-	-	-	※2
155	信貴勢野線	154	2	1323	727	熱容量	727	332	可	595	-	-	-	※4
156	南大浜線	154	4	1700	1275	熱容量	1275	1275	可	425	-	-	-	※3、4
157	伊丹支線	154	2	720	396	熱容量	396	396	可	324	-	-	-	※4
158	猪名川伊丹線	154	2	1090	817	熱容量	817	817	可	273	-	-	-	※4
159	神崎支線	154	2	498	373	熱容量	373	288	可	124	-	-	-	※4

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系 設備	
160	伊丹西宮線	154	2	482	361	熱容量	361	41	可	120	—	—	—	※4
161	有馬線	154	2	236	130	熱容量	130	41	可	106	—	—	—	※4
162	生瀬支線	154	2	230	126	熱容量	104	41	可	104	—	—	—	※4
163	送電線	154	1	—	—	—	—	0	—	—	—	—	—	◇
164	送電線	154	1	—	—	—	—	0	—	—	—	—	—	◇
165	送電線	154	1	—	—	—	—	0	—	—	—	—	—	◇
166	送電線	154	1	—	—	—	—	0	—	—	—	—	—	◇
167	新宮線	154	2	236	130	熱容量	88	0	可	106	—	—	—	※4
168	小森新宮線	154	1	184	184	熱容量	142	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
169	新門町支線	154	1	247	247	熱容量	247	247	不可 # 2	—	—	—	—	※1
170	堺浜線	154	2	652	489	熱容量	381	0	可	163	—	—	—	※4
171	信貴猪飼野線	154	1	240	240	熱容量	240	240	可	240	—	—	—	※1
201	丸山幹線 (関～甲賀)	275	2	958	750	同期安定性	0	0	不可 # 4	—	—	—	—	※4
202	丸山幹線 (丸山～関)	275	2	958	719	熱容量	68	0	可	240	—	—	—	※4
203	御母衣北幹線	275	2	1318	659	熱容量	569	0	可	689	—	—	—	※4
204	新北陸幹線 (御母衣～粟東)	275	2	765	700	同期安定性	0	0	不可 # 4	—	—	—	—	※4
205	大黒部幹線	275	2	1319	1023	同期安定性	0	0	不可 # 4	—	—	—	—	※4
206	新祖山線	275	1	479	479	熱容量	357	0	不可 # 2	—	—	—	—	※4
207	祖山線	275	1	479	479	熱容量	425	0	不可 # 2	—	—	—	—	※4
208	新北陸幹線 (御母衣～成出)	275	2	864	864	熱容量	567	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
209	送電線	275	1	—	—	—	467	0	—	—	—	—	—	◇
210	鳩谷支線	275	1	432	432	熱容量	249	0	不可 # 2	—	—	—	—	※4
211	送電線	275	1	—	—	—	337	0	—	—	—	—	—	◇
212	送電線	275	1	—	—	—	368	0	—	—	—	—	—	◇
213	新北陸幹線 (成出～城端)	275	2	864	648	熱容量	588	0	可	216	—	—	—	※4
214	新北陸幹線 (新愛本～城端)	275	2	864	864	熱容量	28	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
215	送電線	275	1	—	—	—	353	0	—	—	—	—	—	◇
216	新北陸幹線 (黒四～新愛本)	275	2	958	958	熱容量	440	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
217	関西幹線 (犬山～新奈良)	154	2	369	304	同期安定性	0	0	不可 # 4	—	—	—	—	※4、(15)
218	関西幹線 (関西丸山支線～笠置)	154	2	369	277	熱容量	0	0	可	92	—	—	—	※4
219	関西幹線 (大井～笠置)	154	2	404	318	熱容量	0	0	可	86	—	—	—	※4
220	兼山丸山線	154	1	95	95	熱容量	12	0	不可 # 2	—	—	—	—	※4
221	関西丸山支線	154	2	369	277	熱容量	0	0	可	369	—	—	—	※4
222	関西幹線 (関西丸山支線～犬山)	154	2	342	257	熱容量	0	0	可	342	—	—	—	※4
223	送電線	154	1	—	—	—	59	0	—	—	—	—	—	◇
224	須原大井線	154	2	304	228	熱容量	144	0	可	76	—	—	—	※4
225	木曽幹線 (須原～犬山)	154	2	304	228	熱容量	0	0	可	0	—	—	—	※4
226	送電線	154	1	—	—	—	38	0	—	—	—	—	—	◇
227	送電線	77	1	—	—	—	36	0	—	—	—	—	—	◇
228	送電線	154	2	—	—	—	149	0	—	—	—	—	—	◇
229	送電線	154	1	—	—	—	80	0	—	—	—	—	—	◇
230	滝越御岳線	154	1	118	118	熱容量	0	0	不可 # 2	—	—	—	—	※4
231	滝越小坂線	154	1	160	160	熱容量	2	0	不可 # 2	—	—	—	—	※4
232	送電線	154	1	—	—	—	114	0	—	—	—	—	—	◇
233	東海幹線	154	2	318	396	同期安定性	0	0	不可 # 4	—	—	—	—	※4
234	美濃幹線	154	2	318	396	同期安定性	0	0	不可 # 4	—	—	—	—	※4
235	飛騨新幹線 (滝越小坂線～北方)	154	2	376	282	熱容量	6	0	可	94	—	—	—	※4
236	飛騨旧幹線 (角川～北方)	154	2	270	203	熱容量	60	0	可	68	—	—	—	※4
237	飛騨旧幹線 (笹津～角川)	154	2	202	203	熱容量	60	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
238	北陸幹線 (松岡～高島)	154	2	308	170	同期安定性	0	0	不可 # 4	—	—	—	—	※4、(14)
239	北陸幹線 (成出線～松岡)	154	2	308	231	熱容量	104	0	可	77	—	—	—	※4
240	北陸幹線 (小牧～成出線)	154	2	270	203	熱容量	6	0	可	68	—	—	—	※4
241	北陸幹線 (笹津～小牧)	154	2	270	203	熱容量	160	0	可	68	—	—	—	※4
242	送電線	154	1	—	—	—	70	0	—	—	—	—	—	◇
243	成出線	154	2	132	132	熱容量	5	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
244	送電線	154	1	—	—	—	93	0	—	—	—	—	—	◇
245	送電線	154	1	—	—	—	103	0	—	—	—	—	—	◇
246	送電線	154	1	—	—	—	109	0	—	—	—	—	—	◇
247	飛騨新幹線 (笹津～滝越小坂線)	154	2	376	282	熱容量	164	0	可	94	—	—	—	※4
248	牧支線	154	2	318	239	熱容量	198	0	可	80	—	—	—	※4
249	送電線	154	2	—	—	—	127	0	—	—	—	—	—	◇
250	打保支線	154	2	280	210	熱容量	184	0	可	70	—	—	—	※4
251	万波支線	154	1	155	155	熱容量	142	0	不可 # 2	—	—	—	—	※4
252	送電線	154	2	—	—	—	84	0	—	—	—	—	—	◇
253	柳河原線 (新愛本～笹津)	154	2	270	203	熱容量	133	0	可	68	—	—	—	※4
254	柳河原線 (新柳河原～新愛本)	154	2	308	231	熱容量	162	0	可	77	—	—	—	※4
255	送電線	154	1	—	—	—	98	0	—	—	—	—	—	◇
256	黒部幹線	154	2	308	231	熱容量	68	0	可	77	—	—	—	※4
257	送電線	154	2	—	—	—	262	0	—	—	—	—	—	◇
258	須原松島線	154	2	304	304	熱容量	220	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
259	送電線	154	2	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—	◇
海1	大桑線 (落合側)	77	2	108	108	熱容量	89	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
海2	大桑線 (須原側)	77	2	100	100	熱容量	63	0	不可 # 3	—	—	—	—	※4
海3	与川線	11	1	5	5	熱容量	2	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
海4	相之沢橋場線	11	1	8	8	熱容量	0	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
海5	賤川線	77	1	54	54	熱容量	37	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
海6	今渡線	77	1	50	50	熱容量	6	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
海7	御母衣第二支線	77	1	50	50	熱容量	19	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
陸1	送電線	11	2	—	—	—	4	0	—	—	—	—	—	◇
陸2	黒箱線	11	1	8	8	熱容量	0	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
陸3	大牧線	66	1	43	43	熱容量	27	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
陸4	中野線	66	1	32	32	熱容量	11	0	不可 # 2	—	—	—	—	※1
陸5	送電線	66	1	—	—	—	29	0	—	—	—	—	—	◇
陸6	送電線	77	1	—	—	—	43	0	—	—	—	—	—	◇

* 1 当該系統は、系統安定度等により制約がありますので、連系可能量については、別途詳細検討が必要となります。

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量	平常時 出力制御の 可能性	平常時出力制御が 必要となる設備		備 考
							当該設備	上位系考慮				当該設備	上位系 設備	
A1	A1フェンス(新綾部線+播磨中央線+播磨線)	500	-	-	8300	電圧	2441	-	-	-	-	-	-	
A2	A2フェンス(新綾部線+播磨中央線+東播線)	500	-	-	8300	電圧	1714	-	-	-	-	-	-	
A3	A3フェンス(新綾部線+播磨中央線+丹波線)	500	-	-	8300	電圧	348	-	-	-	-	-	-	
A4	A4フェンス(新綾部線+能勢線+播磨線)	500	-	-	8300	電圧	2546	-	-	-	-	-	-	
A5	A5フェンス(新綾部線+能勢線+東播線)	500	-	-	8300	電圧	1819	-	-	-	-	-	-	
A6	A6フェンス(新綾部線+能勢線+丹波線)	500	-	-	8300	電圧	453	-	-	-	-	-	-	
B	Bフェンス(北河内線+南近江線+北大和線)	500	-	-	7500	電圧	4251	-	-	-	-	-	-	
C	Cフェンス(南大和線+信貴線)	500	-	-	4600	電圧	2256	-	-	-	-	-	-	